

大沢野道路瓦版 ～PI活動報告～ (びーあい)

No. 3 2002年4月 編集／大沢野道路PI実行委員会

(問合せ先) ● 国土交通省北陸地方整備局 富山工事事務所 調査第二課 TEL 076-424-9786 FAX 076-424-1772
● 大沢野町 建設課 TEL 076-468-1111 FAX 076-468-2642

(今回のご報告内容)

意見募集結果ならびに住民説明会の報告について

今回の瓦版では、昨年12月から1月にかけておこないました意見募集の結果報告と、3月に行いました住民説明会とPI委員会の報告をさせていただきます。

< 目 次 >

- | | |
|---------------------|--------|
| 1. 意見募集の結果をご報告いたします | 1ページめ |
| 2. 住民説明会を開催しました | 10ページめ |
| 3. 第3回PI委員会を開催しました | 12ページめ |

PI（パブリックインボルブメント）とは、道路をはじめとした社会資本整備に際し、住民の皆さんとの意見交換を行い、計画に意見を取り入れるしくみのことです。

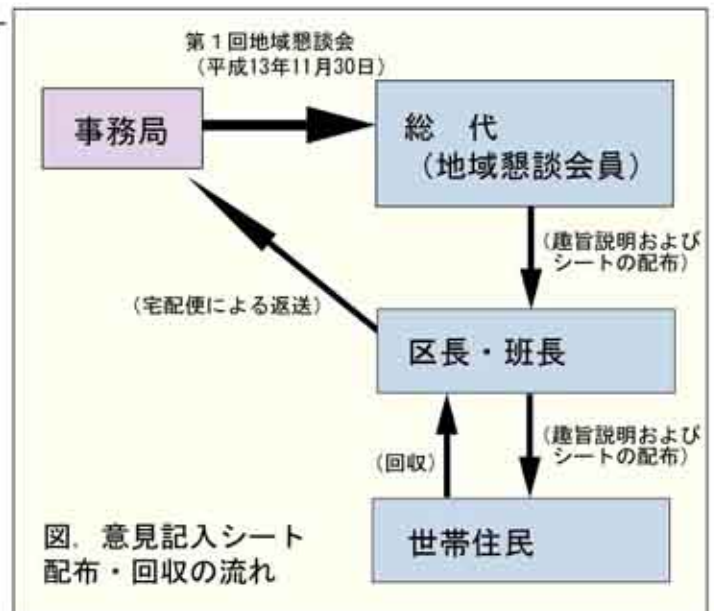
1. 意見募集の結果をご報告いたします

(1) 意見記入シートを配布・回収させていただきました

昨年11月下旬から12月初旬にかけて、区長・班長さんを通じ大沢野道路瓦版第2号とともに意見記入シートを配布させていただきました(右図参照)。

意見記入シートは、大沢野道路瓦版第2号でお示した内容に対して、自由にご意見をいただくための調査用紙です。

ご意見をお寄せいただきました皆さん、ならびに配布回収にご協力いただきました総代さんをはじめ区長さん、班長さんには、心より御礼を申し上げます。



(2) 中間報告をさせていただきました

皆さんからお寄せいただいたご意見は、順次整理、集約をさせていただき、中間報告資料として3月に実施した住民説明会において閲覧させていただきました。

また、住民説明会に出席できなかった人たちのために、住民説明会で配布した中間報告資料を、瓦版号外(3月15日付)として、各世帯の皆さんへ回覧させていただきました。

(3) 寄せられたご意見についてご報告いたします

今回の意見募集では、意見記入シートに自由にご意見を記入していただく方法を用いました。頂いたご意見は総数で1,640通になります。

今回の瓦版では、そのすべてをお示しすることはできませんので、誠に勝手ながら要約してご報告させていただきます。

なお、皆さんからお寄せいただいたすべての意見は「意見集」としてとりまとめ、近日中に役場および各地区公民館に常設する予定にしております。

よろしければ、町民の皆さんの生の声をご確認ください。



(4) 意見募集の方法と結果は以下の通りでした

【調査方法】

調査方式： 意見記入シートの配布、回収
 調査地域： 大沢野町全域
 調査実施時期： 平成13年11月下旬～14年2月

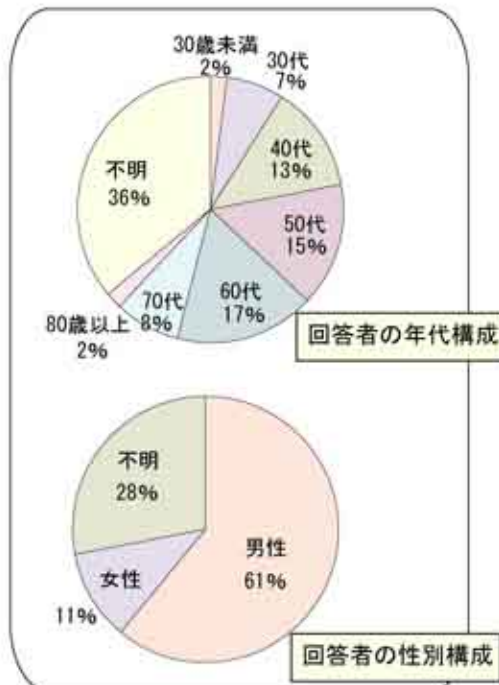
【設問項目】

- 町内会の名称・班の名称
- お名前、年齢、性別
- ご意見
 - ① P1活動のすすめ方についての意見
 - ② ルートおよびインターチェンジの配置についての意見
 - ③ その他自由意見

■意見記入シートの回収状況は以下の通りです。

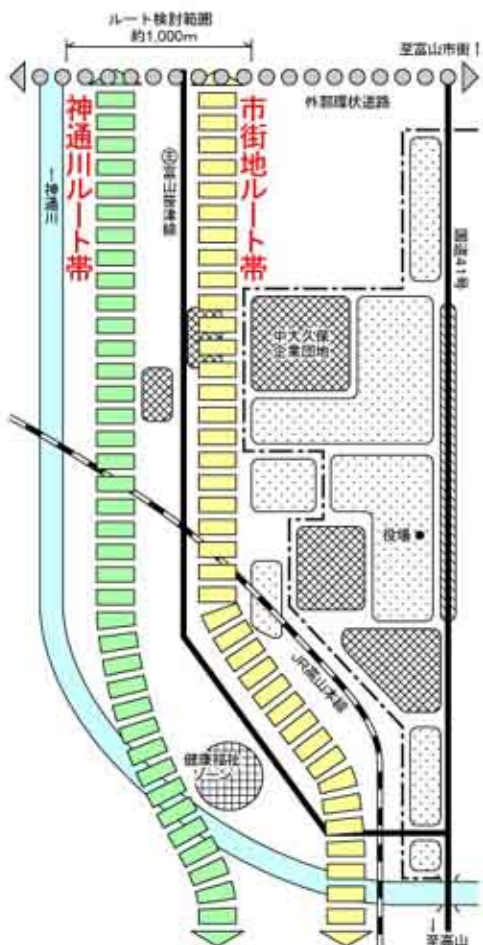
回収シート総数	1,640通
回収率※	24.6%

※回収シート総数/総世帯数(6,677世帯・H14.1.1現在)×100(%)



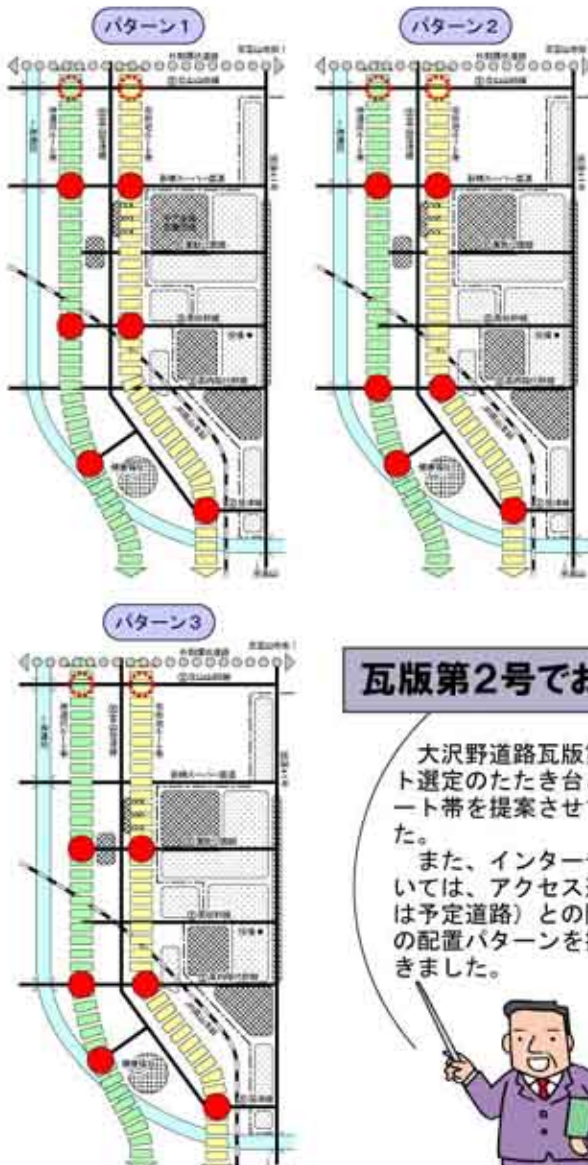
●2つのルート帯を提案しました

【瓦版第2号より】



●3つのインターチェンジ配置パターンを提案しました

【瓦版第2号より】



瓦版第2号でお示した内容

大沢野道路瓦版第2号では、ルート選定のたたき台として、2つのルート帯を提案させていただきました。
 また、インターチェンジ配置については、アクセス道路（既存道路又は予定道路）との関わりから、3つの配置パターンを提案させていただきました。



(注) ここで示した2つのルート帯は、具体的なルート選定のためのたたき台となるものです。今後の検討において、それぞれのルート帯を組み合わせたルートも考えられます。

凡例	
用途地域界	---
商業系	[斜線]
工業系	[点線]
住居系	[格子]
福祉・レクリエーション系	[縦線]
土地利用	

※ 全立山間線は、外郭環状道路が具体化した時点で、改めて検討することとしています。

<皆さんから寄せられた意見・質問の構成>

皆さんから寄せられたご意見を要約し、以下の4つの項目に大きく分類させていただきました。

1. これまでのP I活動に関するもの（4～5頁に掲載）

①P I活動の目的、意義について

③情報提供の手段について

②P I活動のすすめ方、とりまとめ方法について

④意見聴取の方法、意見の取り扱いかたについて

2. ルート帯に関するもの（6頁に掲載）

①将来のまちづくり支援と都市活動の利便性向上

②大沢野道路が担う機能、役割

③周辺環境への影響と環境保全対策

④地域分断問題の解消

⑤建設コストの低減方策

3. インターチェンジ配置に関するもの（7頁に掲載）

①将来のまちづくり支援

②大沢野町へもたらす整備効果

③広域利用に向けた提案

④インターチェンジの設置数

⑤周辺環境への影響と環境保全対策

4. 大沢野道路計画全般に関するもの（8～9頁に掲載）

①大沢野道路の意義、整備の必要性について

②広域道路網計画と地域の将来像について

③道路整備による地域への影響について

④道路整備の財源について

皆さんからいただいたすべての意見は、「意見集」としてとりまとめ、役場および地区公民館に常設する予定にしております。

またご質問に関しては、今後とも瓦版などを用いて皆さんにお答えしてまいります。



1. これまでのPI活動に対するご意見、ご質問

① PI活動の目的・意義について

○PI委員会、PI実行委員会はどのような立場の人で構成されているのですか。また、いつ設置されたのですか。

PI委員会は平成13年3月に組織された中立の第三者機関であり、金沢大学の高山純一先生をはじめとして以下の表に示す委員により構成されています。

また、PI実行委員会はPIを運営していく組織であり、関係行政組織で構成されています。

●PI委員会の構成

	職業、役職等
委員長	金沢大学工学部土木建設工学科 教授
委員	富山大学経済学部 助教授
委員	株式会社コミュニケーション科学研究所 取締役
委員	財団法人北陸経済研究所 主任研究員
委員	社団法人 富山県バス協会
委員	社団法人富山県トラック協会 専務理事
委員	特別認可法人富山県商工会連合会 専務理事
委員	社団法人富山青年会議所 2002年度理事長
委員	大沢野町自治会連合会 会長

PI委員会は、PI活動における情報提供の方法や住民からの意見募集の手法について、幅広く意見をいただくことを目的としています。
大沢野道路計画そのもの（ルート位置やインターチェンジ配置）を検討、決定するための会議ではありません。

●PI実行委員会の構成

- ・国土交通省
- ・富山県
- ・大沢野町
- ・富山市
- ・細入村



② PI活動のすすめ方、とりまとめ方法について

○ルート、インターチェンジは最終的にどのように決めるのですか。

○まとめ、公表までのスケジュールを明らかにしてください。

○PI活動は、長時間かけず計画的にスムーズに進めてほしいです。



○国内の財政事情が多難な状況なので、PI活動は時間をかけてじっくりと進めてもよいのではないのでしょうか。

（地域懇談会の運営方法に関する提案）

○地域・地区ごとに懇談会を開いてください。

○地域懇談会は、対象者を女性や若年層に拡げてください。町の将来を担う若年層20～30歳代）の参加は重要だと思います。

○地域懇談会の代表者の中に、地域のまちづくりに熱心な人を加えてください。

ルート、インターチェンジは、地元と十分な意見交換を行ったうえで、極力多くの方々の賛同を得られる形で、最終的に事業者である国土交通省が決定します。このとき、決定理由及び経緯を十分説明していきます。今の段階ではとりまとめの時期を設定できる状況に無いと考えますが、一日も早く「住民の方々のご意見を反映した道路計画」を作成できればと考えています。

また、次回以降の地域懇談会では、多様な人材の参画を考えており、できる限り柔軟な運営を図れるよう努めて参ります。

⇕印で示しているように、全く正反対の考え方を示す意見も見受けられました。その人の立場や価値観などにより、様々な意見があげられています。

事業者として、これらの意見を皆さんとともに共有・理解し合いながら、より良い計画を作っていきたいと思っています。



③ 情報提供の手段について

- P I 委員会、懇談会で意見集約した結果が一般住民へ伝わってきません。
 - もっとわかりやすい資料をつくってください。
- ⇕
- 今回の瓦版はわかりやすくて良いです。

(情報提供の方法に関する提案)

- 説明資料は、地区公民館や町内会単位での配付、閲覧を行い、一般住民が気軽に見ることのできる機会を増やしてください。
- インターネットを利用した意見募集やアンケートの実施を考えた方が良いのではないのでしょうか。一連の活動内容をホームページで公開し、メールを使って随時意見交換ができるようにしてください。
- 瓦版の発行回数や住民説明会の回数を多くして、住民の理解をより深めてください。

(資料の表現方法に関する提案)

- 大沢野町内だけの範囲ではなく、富山市から高山市を含めた全体的な範囲を含めて説明しなければ、地域のエゴでうまくまとまらないと思います。
- ルート帯やインターチェンジ配置のパターンについては、それぞれの利点・欠点を比較して説明してあるとわかりやすいです。

④ 意見聴取の方法、意見の取り扱いかたについて

- 住民が直接話すことのできる場や状況をつくってほしいです。
- 出された意見をどこまで計画に反映させるのですか。
- 声の大小に関わらず、一人ひとりの意見を平等に扱ってください。

(意見募集、意見集約の方法に関する提案)

- 意見募集は、様々な年齢層別に行いとりまとめた方が良いのではないのでしょうか。
- 意見募集では、具体案を提示し選択方式で行ってはどうでしょうか。

地域懇談会の運営については、多様な人材に参画していただけるよう、さらに工夫して参りたいと考えています。

資料のうち、ページ数が多く各戸配布できないものについては、だれもがどこかで閲覧できるように配慮していきたいと考えています。また紙面による情報提供を補う手段として、ホームページによる情報提供を予定しています。

今回、情報の範囲を大沢野町中心とさせていただいたのは、大沢野のまちづくりに重点をおきながら、ルートおよびインターチェンジ配置を含めた意見を伺いたいと考えたためですが、大沢野道路の広域的な役割についても意見を伺いたいと考えております。

ルート帯及びインターチェンジ配置については、今後国土交通省の調査に基づく評価を行い、皆さんに提示し、意見交換しながら進めていきます。

地域懇談会や住民説明会、意見募集等で広く情報を提供し、皆様の意見を頂きたいと考えています。頂いた意見については、経済性や構造面から実現可能か否かを総合判断していきたいと考えています。

意見の集め方やとりまとめ方法については、今回の意見も含め、工夫していきたいと考えています。

2. ルート帯に関するご意見

<ルート帯の検討における5つのキーワード>

① 将来のまちづくり支援と都市活動の利便性向上

② 大沢野道路が担う機能、役割

③ 周辺環境への影響と環境保全対策

④ 地域分断問題の解消

⑤ 建設コストの低減方策

2つの「ルート帯」について、皆さんから以下のようなご意見をいただきました。
ルートに関しては、2つのルート帯に多くの意見を頂いております。今後、具体的なルート案を提示し、皆様からの意見を公表し共有できるよう努めながら、地元と行政或いは地元の中での対話を進めていきたいと考えています。

「第1案. 神通川ルート帯」を支持する意見

- 将来のまちづくり①を考えると、市街地からルートを遠ざけて中心部を活かすことが必要だと思います。
- ルート帯はできる限り市街地から遠ざけ、騒音、振動、排気ガス、日照確保などの影響③を少なくしてほしい。また、交通事故の危険性を回避③することもできるのではないのでしょうか。
- できる限り地域分断を回避④するべきです。市街地が分断されてしまいます。
- 住宅が密集する市街地は避け、住宅移転をできる限り少なくする⑤べきです。市街地ルート帯にすると、せっかく整備した社会資本を犠牲にしています。
- 神通川沿いの低・未利用の公有地や民有地を活用すれば、土地の確保が容易⑤で無駄なコストを削減でき、工事期間の短縮を図ることができるため効率的だと思います。

「第2案. 市街地ルート帯」を支持する意見

- 市街地（居住地）に近く便利①です。市街地への行き来が短時間でできます。少しでも市街地に近接することにより道路を利用する人も多くなると思います。
- 大沢野町の都市活動に貢献①することができるのでは。町の発展、活性化に寄与①するのではないのでしょうか。
- 国道41号に近いほど、大沢野道路を利用する車両が増え国道41号の渋滞が緩和③されるのではないのでしょうか。
- 自然環境や景観の保全③から考えると、神通川の自然環境は後世に残すべきです。遺跡や埋蔵文化財③も保全すべきです。

その他の意見

- 大沢野道路が市街地から離れると、現在の国道41号線沿線が閑散①とするのではないのでしょうか。
- 旅客、物資の輸送を目的とした車両は大沢野道路を通行させ、従来の道路（国道41号）との性格の違い②を明確にしたほうがよいと思います。
- 将来の市町村合併をにらんで、東西の隣接町村の利便性②を考慮したほうがよいと思います。
- 2つのルート帯の利便性に大きな差はないので、建設費用の少ない方を選択すべき⑤です。
- 費用対効果の十分に得られるルート帯⑤がよいと思います。

いずれかのルート帯が「良い・悪い」とする意見のほかに、どちらが良いかでなく検討の視点を提起されている方も多くみられました。



※意見の文中にある丸付き数字（③）は、各キーワードの番号と対応しています。

3. インターチェンジ配置に対するご意見

<インターチェンジ配置の検討における5つのキーワード>

① 将来のまちづくり支援

④ インターチェンジの設置数

② 大沢野町へもたらす整備効果

⑤ 周辺環境への影響と環境保全対策

③ 広域利用に向けた提案

「インターチェンジ配置」について、皆さんから以下のようなご意見をいただきました。環境やまちづくりとも密接な関係があることから、今後、皆様からの意見を公表し共有できるよう努めながら、地元と行政或いは地元の中での対話を進めていきたいと考えています。

インターチェンジ配置案に関する主な意見

- インターチェンジ周辺のまちづくり構想^①などに配慮して検討してください。
- 八尾中核工業団地、大沢野企業団地などの工業拠点付近にインターチェンジを設置^②し、流通の利便性を高めるべきです。
- インターチェンジを配置する際は、町への経済効果^②を考慮してください。
- 役場や金融、郵便、福祉施設などへの連絡のほか、国道41号等との接続^②がより容易な場所にインターチェンジを設置してください。
- インターチェンジは、周辺市町村を含めた広域的な利便性^③を考慮して設置してください。神通川を橋で越えている広域的な道路^③にインターチェンジをつくとよいと思います。
- インターチェンジをできるだけ多く^④つくれば、町の活性化^②にもつながると思います。
- インターチェンジは、わずか9kmの区間に3~4カ所も必要ありません^④。インターチェンジの数は、交通の流れや用地確保の面から必要なものだけとし、極力減らした方がよいと思います。
- 交通量の多い道路にインターチェンジをつくと、更なる渋滞を招く^⑤おそれがあると思います。
- インターチェンジ整備予定地周辺の交通量^⑤を考慮し検討してください。それぞれの配置案に応じて、交通流量がどの程度になるのか、具体的な数値データを提示してください。
- インターチェンジ付近の騒音、排気ガス、景観対策、交通安全対策^⑤を図ってください。

ルート帯に関する意見と同様に、インターチェンジ配置においても将来のまちづくりや環境への影響についての意見が多くみられました。



4. 大沢野道路計画全般に対するご意見、ご質問

「大沢野道路計画」について、皆さんから以下のようなご意見・ご質問をいただきました。

大沢野道路計画全般に関する主な意見

① 大沢野道路の意義、整備の必要性について

- 大沢野道路計画の社会的意義、必要性について、住民に十分説明してください。
- 少子化、低経済成長下の将来動向のもとで新たな道路建設はデメリットが多いと思います。
- ⇕
- 長期的にみても必要な道路だと思えます。町の発展のためには必要な道路です。
- 大沢野道路整備は、町にどれだけの経済効果を生み出すのでしょうか。

道路整備は地域づくりと密接な関係があります。

例えば、県外からの観光客の誘客においては、インターチェンジ配置と観光レクリエーション施設整備を関連づけて行うことで大きな経済効果が期待できます。商工業についても同様のことが言えます。

また、移動時間が短縮されることで、物流コストが下がり、日常生活においても様々な恩恵が得られると考えます。

経済効果については道路単体では評価できないため、まちづくりと一体のものとして総合評価して行くべきと考えています。

② 広域道路網計画と地域の将来像について

- 北陸自動車道、東海北陸自動車道との関係はどうなっているのでしょうか。
- 「大沢野町」として、まちづくりをどのようにしていこうと考えているのでしょうか。
- 道路事業の実施時期（工事着工予定）、見通し（完成目標時期）を明確にしてください。

全体計画として、北陸道、中部縦貫道と接続し、規格の高い幹線ネットワーク整備を考えております。これにより、災害に強い道路となり、人・物の輸送を安全で早く確実に行えるエリアが広がるとともに、日常生活や経済活動に多大な便益をもたらします。

また、大沢野町のまちづくりを考えていくうえでも重要な役割を果たすと考えます。このため、大沢野町を中心に行政レベルでも意見交換していきたいと考えています。

道路ができるまでには、概ねのルート案が決まった後、環境影響調査・都市計画決定手続き・地元設計協議・用地買収・埋蔵文化財調査を経てようやく工事着工となりますので、なるべく早い計画の決定を目指します。



③ 道路整備による地域への影響について

- 国道41号の整備計画は今後どのようなのですか。
- これまでと同様の環境を保証してもらえるのでしょうか。
- 自然環境への影響について説明してください。
- 道路ができれば交通量も増えると思います。自動車の公害や交通事故増加が心配です。

大沢野道路を整備することで、国道41号を通過している大型車等の通過交通が転換するため、国道41号の渋滞や事故、騒音、振動などの問題が解消され、国道41号はもっぱら生活道路として機能すると考えます。

このため、当面、大沢野道路を先行して整備していきますが、現在の国道41号につきましても、交差点改良や歩道設置などの緊急性の高い箇所について順次整備し、使いやすい道路としていきます。

ルート案が決まった段階で環境影響調査を行い、その結果を公表します。

④ 道路整備の財源について

- 大沢野道路を整備するための財源は確保されているのでしょうか。

大沢野道路は、規格の高い広域幹線道路網を構成する道路として位置付けられています。このため、道路整備の必要性及び優先性は一般道路よりも高くなっています。

地域の理解を得たよりよい計画とすることで、早期に実現が可能となると考えます。



今回要約してお示しのご意見以外にも、住民の皆さんから多くのご意見をいただいております。皆さんからいただいたすべてのご意見は、「意見集」として役場や地区公民館に常設する予定です。

※平成13年11月に町全世帯に配布した大沢野道路瓦版創刊号において、Q&A形式で皆さんからの質問にお答えさせていただいています。これら資料につきましても、役場や地区公民館に常設する予定です。

2. 住民説明会を開催しました

去る3月に住民説明会を開催しました。住民説明会は、昨年11月30日の地域懇談会でご説明した内容について、改めてご報告させていただくことを目的として実施しました。

住民説明会では、昨年末に配布しました瓦版第2号の内容をもとに、これまでのPI活動についてのご説明をさせていただきました。また、先に示した意見募集結果の中間報告を行い、皆さんから寄せられた意見の概要をご紹介させていただくと共に、PI実行委員会としての回答をさせていただきました。

次に、質疑応答を行い、参加された皆さんから多くの意見をいただきました。

なお、当日参加された方には、その場で感想・意見シートをお配りし、住民説明会の成果や大沢野道路計画についてのご意見をいただいております。

住民説明会の開催状況は、右に示す通りです。

＜住民説明会の開催状況＞

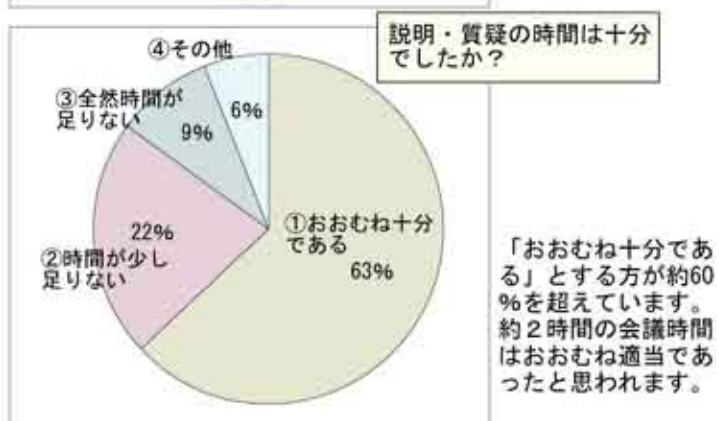
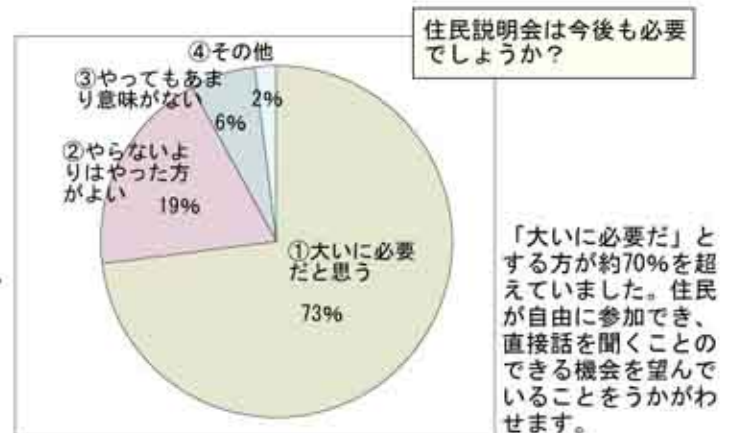
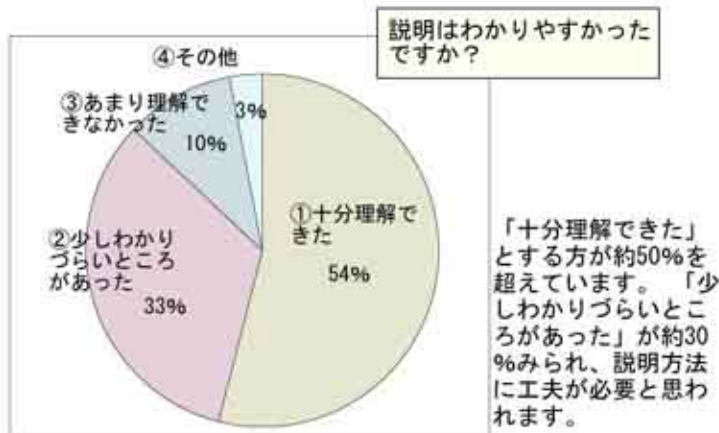
	休日・昼	平日・夜
開催日時	3月3日（日） 13:30～15:30	3月6日（水） 19:00～21:00
参加者	69名	41名
質疑件数	29件	15件
感想・意見シート回収数	56枚	31枚
会場	大沢野町町民文化会館ホール	
PI実行委員会	国土交通省 大沢野町	
オブザーバー	PI委員会委員長	



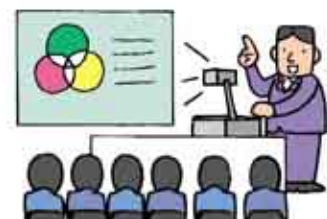
ホールのスクリーンを使って、ご説明をさせていただきました。



会場の入口に、これまで作成した資料などを掲示して、皆さんに見ていただきました。



出席された皆さんから、ご意見・ご感想をお聞きしました。



<参加された方々から寄せられた意見・質問の構成>

住民説明会に参加された皆さんから寄せられたご意見を要約させていただきました。

<地域懇談会のすすめ方について>

●地域代表者による地域懇談会の実施方法、資料配付や説明方法が不十分でうまく機能していないと思います。



●私の地域では、総代から説明がなされ、意見記入シートの配布から回収までがスムーズに行われました。

地域懇談会の場で配布資料の内容説明と各世帯への配布方法を説明させていただきました。

予定した時間を超過して議論をしましたが、参加者全員が共通の理解に至るまでの説明ができていなかったということになります。

今後は、さらに工夫していく必要があると考えています。

地区単位で行うことは、時間とコストがかかるため、一括して行っております。

開催にあたっては、回覧板や公民館などにポスターを掲示してPRしましたが、今後は更に工夫していきます。

今後とも、いろいろな立場の方に参加していただき情報提供と意見交換を行っていきたいと考えています。

<住民説明会について>

●住民説明会を充実してほしいです。できれば地区単位で実施できないでしょうか。

●せっかくの住民説明会なのに、参加者が少なすぎます。PRが足りないのではないのでしょうか。

●今後、検討内容が具体的になったときに、土地所有者や利害関係者に十分説明していく必要があると思います。

<提供する情報の内容、資料の表現方法などについて>

●大沢野町内だけの情報です。富山市側、細入村側を含めて、富山高山連絡道路の広域的なつながりがよくわかりません。

●PIという言葉を含めて、カタカナ文字が多くて良く理解できません。

●財源について、十分な説明がされていません。緊急性が高い道路なのでしょう。



●モータリゼーションの時代にあって、地域発展のためには道路整備は不可欠だと思います。

●費用対効果について、どのように考え、どのように提示していくのでしょうか。

●大沢野町としてのまちづくりの考え方、姿勢を教えてください。

●環境対策（冬期凍結防止対策など）を考えているのでしょうか。

過去に提供した資料も含め、広域的な情報を載せた資料を公民館に配置します。

極力わかりやすい言葉を用いるよう努めていますが、やむを得ずなじみの少ない言葉を用いるときは注釈をつけるように致します。

道路整備の効果や必要性、費用対効果につきましても、説明資料を公民館に配置します。

冬期対策については、ルート決定後、道路設計をする中で検討していきます。

PI委員会の構成は4ページに紹介しております。公平な立場の組織となるよう、学識者を中心に選定いたしました。

地域代表者による地域懇談会のメンバーは地元の事情をよく知る人ということで、総代さんとさせていただいております。また、次回からは、総代さんとともに新たな懇談会員を加えていきたいと考えています。

<PI委員会、地域懇談会の体制について>

●PI委員会、地域懇談会のメンバーの顔ぶれをおしえてください。また、どのようにして選ばれたのですか。

●地域懇談会のメンバーは公募で選んでください。意見記入シートをみると、考えを持っている人が沢山いるようです。

●土地改良区の方を、委員会や懇談会のメンバーに含めるべきだと思います。

<今後のスケジュールについて>

●PIでは、いつまでに概ねのルートを決めるのでしょうか。

●事業の今後の予定はどうなっているのでしょうか。事業着手年度、完成年度はいつ頃なのでしょうか。

環境影響調査を経てルートが最終決定されますが、環境影響調査を行うためのルート案を平成14年度中に決められればと考えています。

工事着手までには、環境影響調査、都市計画決定、地元設計協議、用地買収、埋蔵文化財調査などがあり、ルート案が決まってから6~7年はかかります。

3. 第3回PI委員会を開催しました

平成14年3月26日に第3回大沢野道路PI委員会が開催されました。第3回PI委員会では、主に以下の内容についての説明と検討が行われました。

1. PI活動報告と評価

実行委員会から委員会にこれまでの活動報告を行い、活動の評価と課題の整理を行いました。

2. 今後のPI活動計画（案）

住民の皆さんの意見を受け、今後、ルート・インターチェンジについてより具体的な情報を提供していくことを確認しました。

PI実行委員会としては、委員会でいただいた意見をふまえながら、今後のPI活動に取り組んで参りたいと考えております。



●第3回PI委員会風景（3/26）

4. PI実行委員会からのお知らせ

PI実行委員会は、第3回PI委員会の結果を受けて、今後、以下の予定でPI活動に取り組んでいくこととしております。

●当面の活動予定

- （5月頃）第2回地域代表者による地域懇談会
- （5月頃）第2回経済団体・組織による地域懇談会
- （5月頃）広報〈大沢野道路瓦版第4号の発行〉

●今後取り組む予定の活動

- これまでに作成した資料を役場および地区公民館に常設します。（5月頃まで）
- 専用ホームページを開設します。（6月頃まで）

●大沢野道路PIの最終的なとりまとめについて

- 大沢野道路PIの活動は、平成14年度をめぐりに最終的なとりまとめを行いたいと考えています。
- 最終的に、ルートについては最終案の位置と構造形態、インターチェンジについては箇所数と位置について定めたいと考えています。
- 平成14年度は、地域懇談会をはじめ、アンケート調査や瓦版の発行、住民説明会を繰り返しながら、最終案に向けて徐々に具体的な内容を詰めていくこととなります。
- 最終的なルート案は、事業者である国土交通省が決定します。

●第2回地域代表者による地域懇談会について

- 第2回懇談会では、より詳細なルート案を提示し、皆さんから具体的に検討していただきます。
- また、多様な人材の参画を求めするために、これまでの総代さん・区長さんに加えて、新たに地域からの推薦により選ばれた方に懇談会員として参加していただく予定です。



図. 今後のPI活動の基本形態

本パンフレットに対するご意見・ご質問をお待ちしております

（問合せ先）

- 国土交通省北陸地方整備局 富山工事事務所 調査第二課 TEL 076-424-9786 FAX 076-424-1772
- 大沢野町 建設課 TEL 076-468-1111 FAX 076-468-2642